

案件2 南旭ヶ丘町地域における既存タクシーを活用した実証実験の実施について

令和8年度 第1回
富田林市交通会議 資料2

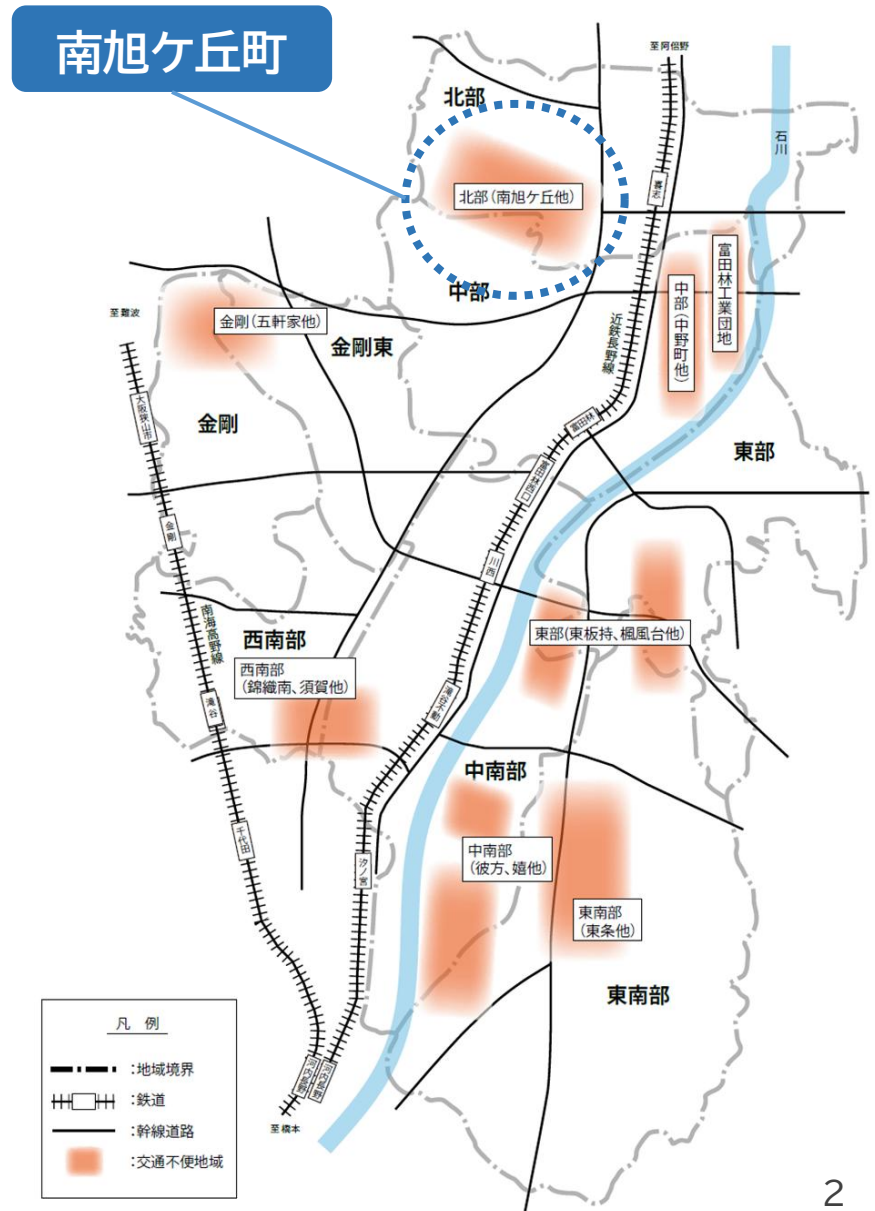
目次

- 1 南旭ヶ丘町地域とは
- 2 これまでの経過
- 3 既存のタクシーを活用した実証実験の概要(案)
- 4 地域での利用促進策の検討について

1 南旭ヶ丘町地域とは

- ✓ 主催:南旭ヶ丘町公共交通導入委員会
- ✓ 活動地域:南旭ヶ丘町
- ✓ 人口:974人(令和7年3月時点。以下同じ。)
- ✓ 世帯数:446世帯 高齢化率(※):33.9%
- ✓ 地域の特徴:鉄道駅やバスの停留所から離れている。

※高齢化率:地域の人口に対する65歳以上の高齢者が占める割合

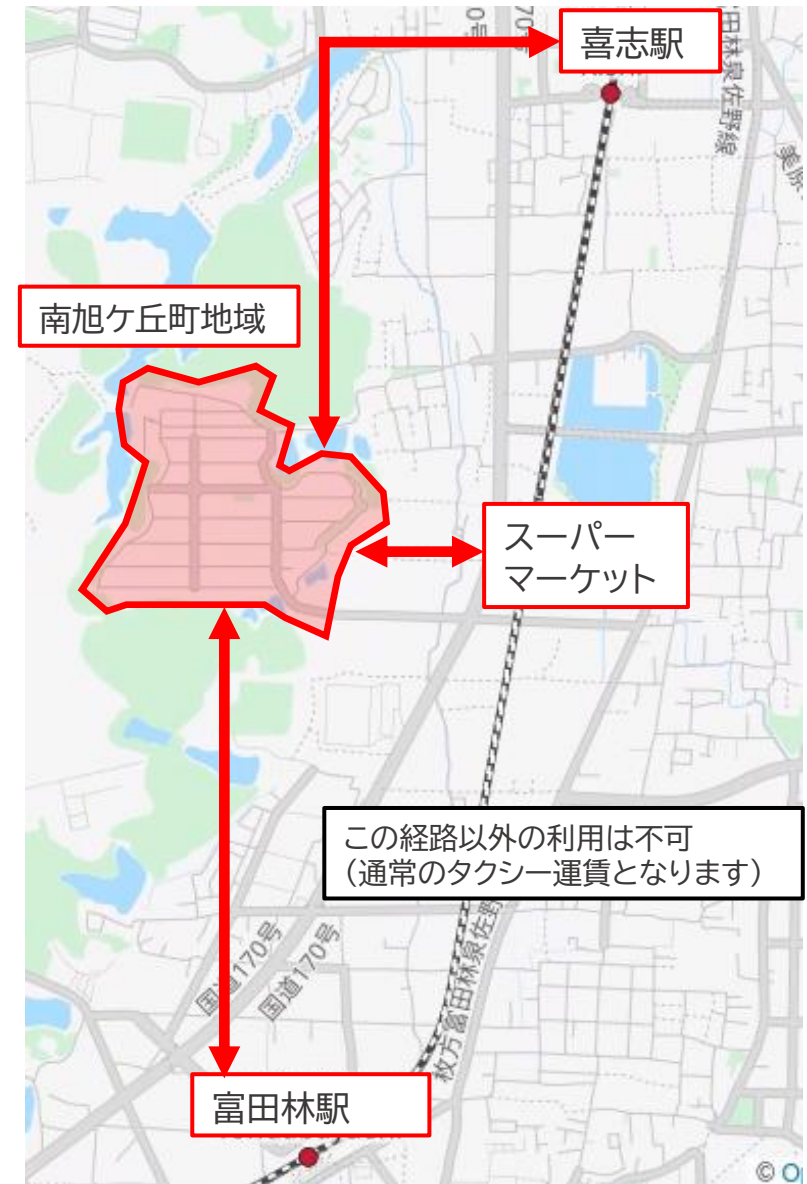


2 これまでの経過

令和4年	10月	地域にて公共交通に関するアンケートの実施
令和5年	3月	地域にて公共交通の勉強会の開催
	4月	「南旭ヶ丘町公共交通導入委員会」の設置
	5月～8月	委員会の会議を複数回開催
	9月	第1回勉強会(ワークショップ)を開催
	11月	河内長野市楠ヶ丘地域の乗合タクシー「くすまる」視察 公共交通に関するアンケート調査を実施
令和6年	7月	第2回勉強会(ワークショップ)を開催
令和7年	3月	実証運行計画(たたき台)の内容も含め、住民アンケート調査を実施
	4月～9月	住民アンケート調査の結果に沿った実証運行計画(案)のとりまとめ
	11月	実証運行計画(案)に対する需要の見極め及び機運醸成のため、既存のタクシーを活用した実証実験の実施を決定
令和8年	1月	富田林市交通会議で既存のタクシーを活用した実証実験(案)の承認

3 既存のタクシーを活用した実証実験の概要(案)

項目	内容
目的	既存のタクシーを活用した実証実験を行うことで、乗合タクシー(実証運行)に対する需要を見極め、乗合タクシーのさらなる機運醸成を図ることを目的とする。
利用方法	事前にタクシー券を配布する。支払い時にタクシー券を乗務員に渡すことにより、運賃を割引く方法(1回の乗車につき、1枚使用可能)
エリア	・南旭ヶ丘町地域と、喜志駅、富田林駅またはスーパーマーケットとの相互区間。 ・南旭ヶ丘町地域内の発着 上記の場合のみ適用
期 間	令和8年9月20日(日)～令和8年11月19日(木) ※令和8年3月、地域にて決定
時 間	午前7時～午後7時
料 金 (利用者負担額)	1人につき、大人300円(障がい者・小児は半額)
利用者負担額 (一例)	大人2人利用の場合 $300円 \times 2 = 600円$ (利用者負担額)



実証実験エリア(案)

※ 上記の条件を満たさない場合は、適用外となる。
 ※ 今後、タクシー事業者との調整により内容が変更となる可能性がある。

4 地域での利用促進策の検討について

地域では、今回の実証実験の目標である**収支率30% (1日あたり75.6人)**を目指し、様々な利用促進策を検討。

利用促進策(1)

タクシー券等の作成

南旭ヶ丘町地域における既存タクシーを活用した実証実験タクシー券(案) 乗車時にご覧ください

利用客記入欄(乗車エリヤに記入してください)	利用客記入欄(乗車エリヤに記入してください)
①富志駅前ロータリー ②富田林駅前ロータリー ③コープ中野町店 ④南旭ヶ丘町地域	①富志駅前ロータリー ②富田林駅前ロータリー ③コープ中野町店 ④南旭ヶ丘町地域
利用目的(任意) ① 買い物 ② 通院 ③ 通学・通学 ④ 趣味 ⑤ その他	

実施期間 令和8年9月20日(日)～令和8年11月19日(木)まで
実施時間 午前7時から午後7時まで(実施期間中毎日)

①運賃(1人あたり) 大人 300円 小児(小学生まで) 150円
②乗車 乗車1名につき1名(1名)無料 乗車1名につき150円
③適用 エリア 乗車地及び降車地いずれも実証実験エリア(南旭ヶ丘町地域と、富志駅前または富田林駅またはコープ中野町店との相互区間、もしくは南旭ヶ丘町地域内の場合に適用)
④適用エリア外であれば、両乗客の途中下車・途中下車も可能です。
⑤タクシー配車予約について
○電話予約 大畑一交通(株) TEL 0570-06-0152
○近鉄タクシー(株) TEL 0570-06-9001
○スマホアプリ(お支払いに現金払いに限りません)。
※画面の注意事項も必ずお読みください。

適用エリア

実施時期
5～6月ごろ

利用促進策(2)

班単位での説明会の実施



実施時期
7～8月ごろ

イメージ図

利用促進策(3)

継続した利用促進活動の実施

1. 住民どうしの声掛け
2. 積極的な利用の推進
3. 定期的な広報誌の回覧
4. 広報などでの周知

実施時期
7月～運行終了まで

広報の例(イメージ図)



4 地域での利用促進策の検討について

地域では現在、引き続き下記の項目を中心に検討を続けている。



地域で検討を行う中での課題・疑問点の一例

- ✓ 詳細な利用方法が分かりにくい。Q&A形式の案内資料の作成をし、周知すべき。
- ✓ 朝夕の時間帯や天候などで、配車できない場合に移動困難にならないか。また、その場合において、利用実績への反映ができるか心配。
- ✓ これまで乗合タクシーで検討してきたので、実証実験が通常のタクシー利用であるため混同しそう。
- ✓ 障がい者の方でも分かりやすく、簡単に利用できるよう、丁寧なQ&Aの作成が必要。
- ✓ 障がい者の方にとっては福祉タクシーと混同する可能性があるため、Q&Aの作成が必要。
- ✓ 喜志駅、及び富田林駅のロータリーは複数あるため、利用方法については周知が必要。